

4. アンケート結果

4-1 参加者の声

4-2 ボランティアの声

4. アンケート結果

4-1 参加者の声

今回のもりフォーラムの感想

- 緑がたくさんあって、落ち着ける環境が良かった。
- 他者との触れ合いが出来た。創作品を利用者が喜ばれた。
- 緑が気持ちよかったです。
- 天候も良く、緑の中を歩け、おいしい空気を吸い気分転換が出来た。
- はじめて来て見て、とても楽しめた。座る場所も多かった。
- ボランティアの方が多くて、とても助かりました。
- 緑が最高に良かった。認知症のお話も良かった。
- スタッフやボランティアの方の対応が細やかで助かりました。
- とても良かったと思う。
- 創作などあり、良かった。
- 皆さんほのぼのしていて良い表情をしており、交流が深まったのでとても良かった。
- 家族間の会話がありとてもよかった。
- 色々なイベントの中でスタッフ、他者との交流が楽しかった。
- 自然の中、たくさんの方たちと触れ合える点が良かった。
- 自然に囲まれている点や、ボランティアの方々がすばらしかった。
- みどりが多くすごしやすい。
- パネル展示が見やすかった。
- パネル展示がとても分かりやすく、見やすかったです。
- スタッフの親切さ、緑の美しさ、このような時間の大切さを感じれ、とてもよかった。
- 学生のボランティアさんが多いので、未来が明るい気がした。受付の赤いジャンパーのボランティアさんが親切に説明してくれた。
- ボランティアさんたちもいて良かった。
- 準備から設営、運営、大変だったと感じます。思い出をありがとうございます。
- 毎年楽しく参加させていただいています。
- ピエロによるパフォーマンスで風船飾りをいただきました。
- 雨模様の予報が曇天と時々小雨が降った状態の日で、無事参加者も多く良かったと思う。
- 若い人たちがボランティアをやっていることはとても素晴らしい。日本もまだまだ捨てたものじゃない！

困ったこと、気づいた点、次回開催への要望

- なんだか上滑りの感じがする。施設の人たちだけの催しみたい。
- 何かてんでバラバラ、協力しているようでしていない。認知症のイベントをとってつけた様な変な気分になった。
- 少し雨が降って残念。午後からの参加で雨が降りコンサートが短かった。
- 午後に来場したため、活動内容が少なかったが、ピエロにご利用者様が感動していました。
- 屋台がもっと沢山あるといいな。
- どこで何があるかわからない、場所が。
- イベントがある会場の看板など案内が欲しい。
- 会場案内所がアンケート回収のところにあったら良い。
- 当日の参加受付を、会場でできればよかった。
- 山田緑地はもっと広いので、他にも何か展示品やスペースを利用しても良いと思いました。
- 参加者を訪ねて来たがどこにいるか知っている人がいなかった。名簿や参加者が何のボランティアをしているか教えてくれるところがない。
- 家の玄関前に空のテーブルを並べていたが、店を出したほうがよかった。
場所がもったいない。
- もりのフォーラムか福祉のフォーラムかどっち。福祉は福祉でやってほしい。
- 屋台が遠い。森の家の前あたりに並べたほうが買いやすい。
- 段差があって、車椅子を押しにくい所があった。
- ボランティアのアンケート用紙が不足した。
- 個人ボランティアに対する配慮がないように見受けられた。
- イベントの案内が不徹底と感じた。
- 音楽の催しをもっと増やして欲しいです。
- 歌を歌ったりするイベントを増やして欲しい。
- 認知症の劇を実施してほしい。
- 自然について色々なイベントを実施してほしい。福祉は別で。
- ふうせんバレーをしたい。
- 昔の遊びをしたい。
- 犬とのふれあいがほしい。
- 動物とのふれあいなどがほしい。
- 見るだけでも楽しめる催しがあったら良い。

- 本部の位置が分かり難い。入口に持って来た方が良いと思う。
- 入口前の広場でイベントをしたら良いと思う。
- ボランティアとして事務局が総合案内的なことも統括して欲しい。アンケートの配布回収に係わったが森の家前での回収場所では総合案内係みたいな仕事が多かった。トイレ、弁当受渡所等表示がない。

4-2 ボランティアの声

寄り添っている間に、ボランティア自身がうれしかったことや気づかされた体験

- 最後に「今日は楽しかった」と言ってくれたこと。
- 自然と手をつないでくださった。
- 童謡を歌っている時、最初は知らないといっていた歌でも、途中から大きな声で歌いだした時。
- 自然に触れることが普段あまりないので、楽しそうに散歩されていらっしゃる姿がよかった。
- とても笑顔で話しかけてくださった。
- 普段よりも少し落ち着いている様子だった。小さな子どもを見て喜んでいた。
- 表情が明るく、一生懸命な姿に感動した。
- 昔の事を話されていて、とても笑顔になっていました。
- 笑ってくれたことが嬉しかったです。
- 過去の事を多く話してくれた。
- 笑顔が見られたこと。
- 始めは心を閉ざされており、名前も教えてもらえなかったが、徐々に関わっていくにつれて笑顔や自分から話をしてくれるようになり、信頼関係は大切であると実感した。
- 初対面だったがトイレ介助に抵抗なく介助をさせて下さった。声掛けでの発語が多かったが、歌は積極的に楽しそうに皆さんと歌っていた。
- 帰りに「ありがとう」と言われた。
- 写真を一緒に撮ろうと何度もしてくれた。「ありがとう」と言ったら「こちらこそありがとう」と言ってくれた。
- 過去の話が自然として下さったこと。
- 笑顔がみられたことや、ほっと安心した顔がみられたとき嬉しかった。
周りの事を気にして優しく接している姿を見て、あたたかい気持ちになりました。
- 気軽に話しかけてくれたこと。
- 植物に対する豆知識を教わった。
- 話を共感することができた。
- 楽しそうに笑顔でイベントに参加していたこと。私たちボランティア側も笑顔で楽しそうに接すべきだと感じた。
- 普段は、気が荒く怒ってばかりだそうだが、もりフォーラムに参加した時はいつも一緒にいるスタッフさんにも見せないほど、機嫌が良かったこと

- 同じ事を何回も聞いたりするのですが、毎回のようにその内容を笑顔で語る点。
- 寄り添った方が、もりフォーラムを楽しんでいらっしやっただので、こちらも嬉しく感じました。
- 歌を歌っていたときと笑顔を見られたときが嬉しかったです。
- イベントに積極的ではなかったが、話しかけると笑顔で答えてくださった。
- 今日は楽しかったとおっしゃっていたことが嬉しかった。
- 「一緒に散歩できてうれしい」といってもらえた。
- コンサートで口ずさんだり、笑顔があつたり、とても良かった。
- 「もみじ」が流れている時、目を閉じて静かに歌を聞いていたこと。表情が穏やかだったのが印象的。また最後の別れる時に「ありがとう」と言ってくださった事。
- よく話をされる方で楽しかった。
- 色んな事をよく話してくれたこと。
- 話が通じない場合も多かったが、その言葉が通じて会話が出来、また本人が笑顔になってくれた事。
- 一緒にいた時は、横から話すことが多く、会話もあまり成り立たなかったが、対面で話すと笑顔になり楽しそうに話をしてくれた。
- 最初はあまり話さなくて笑顔も見られませんでした。徐々に口数も増えて笑顔もみられるようになりました。
- イベント参加後に「ありがとう」と言われたこと。
- あたたかい若人がついてくれて嬉しいといわれたこと。
- 笑顔で昔の話をたくさんしてもらえたこと。
- 音楽を聞いている時、私が暑くないかをととても気にしてくださいました。
- イベントに参加されて笑顔で過ごされていたこと。
- 普段家の中にこもっていることが多い方にとってはこのような機会を設けることで気分転換なっていると思います。
- 最初は拒否的な態度だったのですが、後半は話を聞いてくれ、わざわざではあったのですが、笑顔も見ることができました。
- 名前を覚えてくれたことが嬉しかったです。
- 比較的コミュニケーションをとれる方で、楽しく会話が出来た。
- 外に出て散歩するだけでも気晴らしになると嬉しそうだった。
- 「若い人と一緒におると元気が出る」と言われていた。

- 最後に「ありがとう。またどこかでね」と言っていただいた。歌を聞いているときに、最初は無表情なことが多かったが、隣で歌って手拍子をしていると一緒に参加していただけた。
- 車いすに乗る予定でしたが、自分で歩きたいとおっしゃって元気にあるいていたこと。
- 過去の貴重な体験、様々な考えをきかせていただいた。
- 私の学校のことなどに興味を持って質問していただいたこと。
- 優しく色々なお話をして下さったこと。
- 昔の話をよくされていた。
- ご本人の笑顔を見る事ができたことが嬉しかった。
- 写真を一緒に撮ろうと言われたこと。
- 笑顔で色々なことを話して下さったことが嬉しかったです。
- その方、その方によって楽しめるポイントが違っていると感じました。私が一緒に過ごした方は、自分が楽しむというより、周りの人が楽しんでいる姿をカメラに収めるのが楽しそうでした。
- 「ありがとね、ありがとね」と話しかける度に言っていただいたこと。散歩中、絶えず笑顔でいてくれたこと。
- 小さなお子さんが両親と遊んでいる場に出会い、楽しそうに話しかけられていた。先方も快く挨拶して下さって、少し触れ合うなど楽しい時間を過ごされた。

寄り添っている間に、ボランティア自身が、困ったこと、戸惑ったこと

- 笑顔が少なかった。
- 疲れたので座りたいが、ベンチが少なく、いつも座れるとは限らなかった。
- 自分のお弁当を半分分けて下さろうとして困った。
- 何と言っているのか、分からず、しっかりと聞いてあげることが必要であった。奥さんの所に行くと言われ、待っておくことを伝えた。
- 話が一方的になってしまった。
- 積極的に前へ前へと行ってしまいう方だったため、止めるのに苦労しました。
- 会話をどの程度までして良いのか。
- ボランティアの役割を明確にして欲しかった。
- 周囲に人がいる中で「帰りたい」と言ってきた。いつも不安そうであった。
- 何に対しても否定されたとき、対応に困った。
- 草の上に椅子を置いていたためガタガタしてこけそうになっていた。
- 最後にイモをもらって、断るのに戸惑った。
- 膝も腕も悪いと言われたとき。
- 手伝うことは簡単ですが、対象者の方が 1 人でやりたそうにしている時に、どのように接するのが良いのか、難しかった。
- 歩く際に少しの段差につまずいて転倒するのではないかと思った。
- 同じ事を何回も言われたときの反応、応答。
- 雨宿りをしている際に、早く家に帰りたいと一人で歩き出したとき。
- 雨に濡れても良いとおっしゃったこと。
- 何度も同じ事を言われるので、戸惑いました。
- ご家族の方の顔を忘れていたようだった。
- 左片マヒの方で左半側空間無視があったので、リハ的には左からの声掛けをしたほうがいいけれど、右から声をかけたほうがいいのか少し迷った。
- 各グループホームの方々に席を取っており、高齢者が疲れた際に休憩したくても席を取っているということで、休息できなかった。
- 団体行動でしたが、少し自分で歩き回ろうとしていたこと。
- あまり口数が多い方ではなかったのですが、コミュニケーションをとるのに少しかだけ困りました。
- 雨で土がぬかるんでいたので、車いすを押しにくかった。
- 周りの職員の方の指示を待てずに車いすから立ち上がって歩こうとされた。
- 男性の方に寄り添っていたので、トイレの際は何も役に立つことが出来ませんでした。
- 何度か一人で車いすから立ち上がろうとした。

- 施設のスタッフの方と散歩やトイレに行かれる際に、一緒に行っても良いのかわからなかった。
その際はスタッフの方に聞いて一緒に行きました。
- 質問に対して拒否的な言葉が多かった。
- 施設の方がいらっしゃるので、どこまでお手伝いすべきか、どこまで介入していいか悩んだ。
- 毎回ここはどこかを不安そうにされていた。

- 食事や排泄時の介助量が分からなかった。
- 「ここはどこですか？家に帰らないといけない」と急に言われたので戸惑った。
- 活動に積極的に参加される方ではなかったので、促すことが難しかった。
- あまり工作などに参加したくないようで、「早く帰りたい」とずっとおっしゃっていたこと。
- 道がぬかるみ、車いすが駆動しづらかった。
- 施設のトイレが混雑していたため、通行もしにくかった。
- 雨が降り、地面がやわらかくなっていたため、車いす操作に困った。
- 足場の不安定な所を歩こうとする。
- どのように声掛けを行ったらよいか困った。
- 雨が降って急いで室内へ車いすを移動したとき。
- ボランティアの役割に関してもっと明確にしてほしかったです。
- 言葉を発してある時があったのですが、「もごもご」という感じで、その言葉の正しい意味を分かってあげることができなかった。
- トイレ時に施設スタッフの方がすぐに見つからず困った。車いす移動だったので、坂道や凹凸の多い所、泥道は車輪がはさまって抜けなくなるなど。
- 毎年5~6回ボランティアとして参加し、車椅子を押したり、道案内をしたりと行事に参加していましたが、今年は何の仕事もなく若手がいっぱい一般のボランティアとしての参加は私1人でした。こんなことならボランティアの募集の在り方に一考をお願いします。

「今後、何かの形で、認知症の方のサポートをしていきたいと思いませんか？」

との質問に対する回答

「思う」と答えた方に「どんなことならサポートできそうですか」と質問した回答

- 今日のような1対1でイベントに参加したい。
- レクリエーション等のサポートをしたい。
- 認知症高齢者の方々と共に時間を過ごしたいと思っています。
- 精神科就職希望です。
- 共に楽しむこと。
- 見守りや今回のように一緒に楽しむ。
- 楽しい時間を増やせるようにする。
- リハビリの学校に通っていることもあり、今後は病院などで高齢者の方と接する機会もあると思います。
- 臨床に出て、生活復帰ができるようにサポートしたい。
- ボランティアに参加するなどして。
- 色々な話を聞けたので、サポートしていきたいと思う。
- 寄り添って色々な事を話し合いたい。
- 高齢者と若年者が同じイベントに参加して共に過ごす。
- 話しかけること、気持ちを分かってあげることが出来ると思う。
- 今回のようなボランティアでの活動も良いと思います。
- こういったボランティアとして一緒にまわるなど。
- 笑顔を引き出して楽しいと思ってもらえる時間を増やしたい。
- 今回のようなイベント。
- 耳を傾け、話を聞くことや寄り添い、そばにいて困ったときのみ手をさしのべることなら出来るのではないかと思います。
- 介添、補助、ふれあい等。
- 認知症の方と会話などをして関わりたいと思っています。
- 一緒に楽しみ、QOLの向上。
- 生活の支えになる。
- 地域で困っている人を見かけたとき、声をかけ、見守っていききたいと思います。
- 学ぶことがたくさんあるから。
- もりフォーラム。
- 今回このような形で認知症の方をサポートさせて頂いたのですが、今後もこのような形で積極的にボランティア活動を行って行けば、もりフォーラムも活発になるのではないかと思います。

- 色んな行事に参加する。
- 一緒に話をしたい。
- 色々な行事に参加できるよう一緒についていったりすること。
- まだ専門的なサポートができるとは思いませんが、今回みたいに、話を傾聴する事はできると思います。
- このような機会があれば、参加したい。
- 転倒予防のための付き添いや会話する相手として。
- 今回のもりフォーラムのボランティアのような形で。
- 今回のようにコミュニケーションを取ったり介助したりしたいと思います。
- 今回のようなサポートや話し相手などをしていきたいと思う。
- 今後、仕事していく上でも関わっていくと思うし、また今回のようなイベントで話し相手が軽く手助けをしていきたい。
- 地域の方への対応等。
- 基本的なことですが、話し相手になり、今回のようなボランティアに参加し、お手伝いすることなら私にもできそうだと思います。
- 認知症の方との接し方がまだ理解できておらず、個人個人で変わってくるため、対応できるように経験をつんで行きたい。
- 移動中の介助などを、ボランティアを通して行う
- コミュニケーションの相手。
- 一緒に散歩をしたり、話をしたりする。
- 今回のような付き添いの形なら、サポートできそうだと思います。
- 軽介助やコミュニケーションをとること。
- PTとして身体的なサポートをしていきたい。
- 今回のような活動の参加。
- レクリエーションの手伝いなど。
- 理学療法士として働いていくため、運動機能面や精神面において、サポートしていきたいと思う。
- ボランティア参加。
- 認知症の方に限らないけど、トイレの際の介助などでサポートできると思います。
- 散歩等の気分転換の付き添い、話を聞くこと。
- このような催しに参加するのは難しいかもしれないが、生活の中で困っている方の手助けが出来るようにしたいと思う。
- 学ぶことが多いため。

「今後、何かの形で、認知症の方のサポートをしていきたいか？」との質問に対する回答

「思わない」と答えた方に「理由を教えてください」と質問した回答

■サポートはしていきたいと思いますが、今の自分には何が出来るかわからない為。

「わからない」と答えた方に「理由を教えてください」と質問した回答

■時間がないから